

# 時の顔

もともとは東大宇宙線研究所（東京）で素粒子物理学を専門にする研究員だった。1986（昭和61）年、松商学園短大（現松本大）の公募に応じて専任講師に就任。当初は3年ほどで「研究員の職に戻るつもり」だったが、地域に密着した教育や大学経営に没頭するうち、松本暮らしは四半世紀を超えた。

講師に就任して1年目の体験も、身の振り方に大きく影響した。母親を亡くした学生の一人が家計を支えるためシステムエンジニアの職に



## 松本大学長に就任

すみよし ひろゆき  
住吉 広行さん

就こうと、同短大では当時合格者がいなかった情報処理の国家資格取得を目指していた。専門外の科目が多かったが、この学生を熱心に指導。そのかいあって難関を突破したときは「涙が出るほどうれしかった」という。

2004年に副学長に就任、3月末まで学長代行を務めた。大学は地域貢献を理念とし、学生に積極的に農家の手伝いなどをさせた。当初、高校の進路担当者に「学生を遊ばせている」と言われたことも。だが、学生は担い手不足などの実情を体験、自ら調査して解決策を提案した。昨年4月からは学生有志による東日本大震災被災地でのボランティア活動も支援している。

「今の学生は問題意識さえあれば勉強する。地域との関わりは勉強の動機付けになる」。まちづくりに役立つ人材を送り出すことで、地域に必要な大学になれる」と強調する。

趣味はソフトボール。町内会のチームでは投手を務める。大阪府豊中市出身。松本市寿北で妻、長女と3人暮らし。63歳。